

平成29年第8回倫理委員会議事要旨

1. 日 時 平成29年12月22日(金) 17:00~17:50
2. 場 所 会議室1
3. 出席委員 [内部] 齋藤副院長(委員長)、
雨宮事務部長、後藤病棟管理部長、金田外来管理部長
[外部] 松本委員(弁護士)、大山委員(淑徳大学看護栄養学部栄養学科長)
[事務] 齋藤管理課長、井坂治験主任(臨床研究部)
4. 欠席委員 [内部] 森嶋統括診療部長、赤羽臨床検査科長、
鈴木看護部長、加藤薬剤部長
5. 議 題 (1) 研究倫理審査

6. 議事概要

(1) 研究倫理審査

申請者	消化器内科医師	芳賀 祐規
課 題	レゴラフェニブを導入した肝細胞癌患者の実臨床での安全性と有効性を検証する後向き研究	
判定結果	承認	

申請者	看護師(5階西病棟)	今井 美加
課 題	白内障手術前オリエンテーションをうける患者への実態調査	
判定結果	継続審査	以下のことを整理して次回倫理委員会(1月26日(金))で再度審査する。 ・データ収集期間を、倫理委員会承認後から一定期間は集団指導、その後の一定期間は個別指導とするなどを研究計画書に明記すること。

		<ul style="list-style-type: none">・研究への協力のお願いの署名欄は、説明を受けた患者ではなく、説明者を明確にするため説明した職員が署名すること。・アンケート用紙に日付記入欄を設けること。・アンケート用紙の評価段階は、5つくらいにして、それぞれの選択肢の評価を文言で表記すること。・アンケートの問4は、患者の理解ではなく、患者の不安に関する選択肢とすること。・アンケートには、聞きたいことを聞くことができたか、という旨の設問が必要である。・集団指導への参加を拒否した患者には個別指導を行うのであれば、参加する患者から承諾書を徴収する必要がある。
--	--	---

次回倫理委員会 1月26日（金）午後5時～